

育ちと学びをつなぐ

桃の節句も過ぎ、いよいよ卒園、卒業の季節を迎えます。園で身に付けた力を基盤として、小学校生活が始めるよう園と学校が連携を強化し、子どもたちの安心と笑顔のために接続期の取組を充実させていきましょう。

『横浜版 接続期カリキュラム実践事例集 第6集』発行 遊びを通した総合的な学びから教科等を通した学びへ ～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～

29年3月に公示された指針・要領等では、幼児教育と小学校教育の円滑な接続が重視されています。30年度からは、改訂(改定)された要領・指針に基づいて園での保育が行われています。こども青少年局では、昨年度、『横浜版接続期カリキュラム』を改訂しました。それを受けて、今年度は、幼稚園・保育園・小学校の先生方の実践をもとに、『横浜版接続期カリキュラムの実践事例集 第6集』を作成いたしました。第6集では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の具体、幼児教育と小学校教育の接続のあり方を示しています。

～主体的・対話的で深い学びを実現するために～

「富士山作り」から考えられる育ちを想定する



言葉による伝え合い
・雪の積もった白い富士山にしたい

富士山作り

自然との関わり・生命尊重
・砂と関わり遊ぶ

思考力の芽生え
・作りたい形にするにはどうしたらよいか考える

協同性
・イメージを共有しながら、一緒に作りあげていく

数量や図形、標識や関心・感覚
・戸外で体を
・富士山の数や

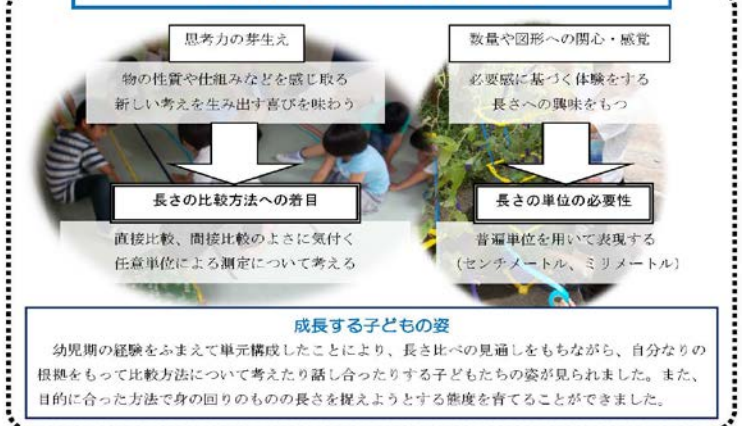
成長する子どもの姿
フリー保育者の立場として様々なクラスに入中で、何気ない日常の場面、見られる遊びの中に、子どもの面白がる姿や夢中に取り組む姿があり、どうしたら子どもたちが楽しんでいけるのか、より愛着が湧くようになりませんか、お話をください。

幼児期の経験や学びを生かし「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」がさらに伸びていくような学習を展開します。

遊びの中から「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の表れを見取り、さらに伸ばしていくような環境構成をします。

～主体的・対話的で深い学びを実現するために～

幼児期の経験を算数科の学習に生かす



思考力の芽生え
物の性質や仕組みなどを感じ取る
新しい考えを生み出す喜びを味わう

数量や図形への関心・感覚
必要感に基づく体験をする
長さへの興味をもつ

長さの比較方法への着目
直接比較、間接比較のよさに気付く
任意単位による測定について考える

長さの単位の必要性
普遍単位を用いて表現する
(センチメートル、ミリメートル)

成長する子どもの姿
幼児期の経験をふまえて単元構成したことにより、長さ比への見通しをもちながら、自分なりの根拠をもって比較方法について考えたり話し合ったりする子どもたちの姿が見られました。また、目的に合った方法で身の回りのものの長さを握えようとする態度を育てることができました。

「同じ地域で育つ子どもたちを 長い目で支える」 ～第3回 幼保小連携推進地区連絡会～

「横浜市幼保小連携推進地区事業」は、近隣の園や小学校が円滑な接続と双方の教育の充実を目指し、テーマに沿って3年間研究を行う事業です。

今年度最後の連絡会は、各地区がパワーポイントで作成した「幼保小推進地区活動報告」を印刷し、紙芝居のように見せながら、それぞれの取組について情報交換を行いました。

推進3年目の地区からは、「継続することが保護者・子どもの安心感につながるので、交流の機会を計画的に設け、これからも取り組んでいきたい」「子ども、職員の交流は充実してきているので、学習面での取組に園の子どもたちが参加できるような取組を考えていきたい」など力強い言葉が聞かれました。

推進地区事業の3年間で幼保小の先生方をつなぐきっかけとなっていることを感じます。

※ホームページに、「幼保小推進地区活動報告」と「推進地区事業紹介のポスター」を掲載しています。



保育・教育人材課 幼保小連携担当のホームページ紹介

幼保小連携やアプローチカリキュラム・スタートカリキュラムについて、事業内容の紹介、各区交流事業や推進地区事業の研究成果報告など、先生方が今知りたい最新情報などを掲載しています。最新情報、事業内容の紹介、各区交流事業や推進地区事業の研究成果報告などを掲載しています。ぜひ、検索してみてください。

＜幼保小連携担当のページの主な内容＞

- ・スタートカリキュラムサポートページ
- ・スタートカリキュラム研修会 接続期研修 案内
- ・アプローチカリキュラムの雛形
- ・幼保小連携推進地区活動報告・推進地区事業紹介ポスター
- ・区教育交流事業報告

3月27日(水)「スタートカリキュラム研修会」

会場:花咲ビル301・302研修室

午前の部:10時～、午後の部:2時～

小学校学習指導要領が改訂され、総則にスタートカリキュラムが位置付けられました。また、教育委員会が策定した「カリキュラム・マネジメント要領」にも幼児期の育ちを踏まえることが明記されるなど、接続期の取組は一層重視されています。

こども青少年局・教育委員会では、「4月からすぐ使える！！スタートカリキュラム研修会」を開催します。『横浜版接続期カリキュラム』や『スタートカリキュラム実践ガイド』に沿って、学校全体でスタートカリキュラムを進める際の留意点や新1年生を担当する先生方が4月からすぐに使える具体的な子どもの受け入れ方、学習の進め方などを実践的に学ぶ研修会です。学校全体でスタートカリキュラムを進める際の留意点や新1年生を担当する先生方が4月からすぐ使える具体的な子どもの受け入れ方、学習の進め方など実践的に学ぶ研修会です。

1年生のスタートは、6年間の学校生活の入口としても重要な時期です。新1年生担任の先生方はもちろんのこと、管理職、児童支援専任の先生方等も、是非ご参加ください。

※「スタートカリキュラム実践ガイド」を作成し、YCANのホームページに掲載しました。スタートカリキュラムを学校全体で共有し、作成する際の参考にしていただけるよう、分かり易く示してあります。

★昨年度の研修の様子です★



ネットワーク保育士の皆さんや幼保小連携担当が、手遊び歌や体を動かしながらの歌を紹介しました



グループに分かれて、実際に週案に時間割を記入しながらスタートカリキュラムの作成を行いました

※保育・教育人材課ホームページの「スタートカリキュラムサポートページ」を更新しました。

スタートカリキュラムの実施については、今回の学習指導要領の総則に位置付けられています。「週案の作成例」、「スタートカリキュラムのマネジメント」「スタートカリキュラム授業公開案内」等を掲載中です。

31年度 研修予定

日 時	研 修 名	会 場
4月16日(火) 8:10~16:40	「スタートカリキュラム授業研究会」(第1回接続期研修会) 公開授業、研究会、座談会 講師 國學院大學 人間開発学部 初等教育学科 教授 田村 学 先生 國學院大學 人間開発学部 子ども支援学科 准教授 吉永 安里先生	池上小学校
4月22日(月) 8:15~16:45	「スタートカリキュラム授業研究会」(接続期研修会) 公開授業、研究会、講演会 講師 元文部科学省初等中等教育局 主任視学官 嶋野 道弘先生	鶴見小学校
7月24日(水) 13:30~16:45	「幼保小教育連携研修会」全体会 講師 東京大学名誉教授 白梅学園大学前学長 汐見 稔幸先生	関内ホール
7月25日(木) 9:30~16:30	「幼保小教育連携研修会」分科会(6分科会) 健康・人間関係・環境・言葉・表現・特別支援教育	ウィリング横浜 技能文化会館
10月24日(木) 15:00~16:45	「第2回接続期研修会」 講師 未定	南公会堂
12月14日(土) 13:00~16:00	幼保小連携フォーラム 講師 文部科学省初等中等教育局 教育課程教科調査官 渋谷 一典先生 幼児教育課幼児教育調査官 河合 優子先生	南公会堂
3月26日(木) 2部制 10:00~ 14:00~	「スタートカリキュラム研修会」(対象:小学校教諭) ゲストティーチャー:ネットワーク専任保育士	花咲研修室



「子どもの心に寄り添うカウンセリング研究会」に参加しませんか



今年で26年目を迎える「カウンセリング研究会」は、毎年高い人気を誇る研究会です。5月から12月までの全8回の開催で、カウンセリングの基礎を学びカウンセリングマインドを身に付けていきます。

幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・義務教育学校・特別支援学校の先生方が、互いの実践現場での子どもたちや保護者との関わり方について話し合い、よりよい対応等を考え、日常の保育・教育に生かしています。

講師は、臨床心理士の先生です。ロールプレイ、グループ討議を中心に研究を深めていきます。

4月初旬に各所属長に研究員の募集について通知をします。多くの方々の参加をお待ちしています。